

# 柏崎刈羽原発で火災

## 放射能漏れなし PCから出火

東京電力柏崎刈羽原発（新潟県）の免震重要棟の一室で17日未明に火災が起き、社員が消火に当たり119番通報した。まもなく鎮火し、ノートパソコン1台と机の一部が焼けた。けが人も放射性物質の漏れもなかった。東電によると、パソコンのバッテリー部分

から出火したとみられる。柏崎刈羽原発は政府が今夏以降の再稼働を目指す。東電の小早川智明社長は2020年以来3年ぶりに、立地自治体の首長に年始のあいさつをするため、16日の柏崎市、刈羽村に続き、17日は小林喜光会長とともに花角英世知事を訪ねた。

面会では、同行した稲垣武之所長が「早朝からお騒がせし申し訳ありません」と謝罪。花角知事は「びっくりしました」と述べた。

同原発では、2年前に侵入検知設備の故障などテロ対策の不備が相次いで発覚し、信頼回復が課題になっている。面会后、今回の火災が与える影響を報道陣から問われ、小早川社長は「（火災は）人為的なものでないと考えている。原因を調べて対処していきたい」と答えた。（戸松廉雄）